

2024年度 第3回 中国地区ジムカーナ部会 議事録

(記)難波、馬場

【日時場所】

2024年10月19日(土) 17時~18時30分
スポーツランドTAMADA 及び リモートTeams会議

【会場参加者】 (順不同、敬称略)

FULLHOUSE(中田,五葉,石井,武内,宮部)、SLT.CLUB(玉田,上程,井ノ本,橋本,原紺)

SPIRIT(藤井慎,西村,奥村,河野)、HMC(太田,榎田,姫宮)、DELBILLY(日高,馬場)

BDC(岡田,柳)、T4(片山)、HINODE.C(難波)、ORANGE(三木)

【リモート参加者】 (順不同、敬称略)

FULLHOUSE(田伏、井上)、SPIRIT(伊達)、T4(山下)、ORANGE(川上)、Y.C(迫谷)、HMC(乗本)

【議題】

①JAF中国ジムカーナ選手権のPNクラスのタイヤ規制について

全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権 統一規則第2章 第2条 2)に加えて、他地区同様に YH A052を使用可能にするかどうか

<意見>

- ・YHはスカラシップもあり、選択肢は多い方が良い。
- ・DL β11、BS 71RSに比べて突出して高性能と云ったわけでもなく、加えても良い。
- ・他地区PNクラスのA052ユーザーも中国地区に遠征が可能になって良いのではないかな。
- ・可能であれば、来年から使用可能にしたい。
- ・JAFが決めた規則に則って選手権を行う方が良いのではないかな。

<決議事項>

- ・全日本と同一規則で運用の構造は崩れるが、クラス区分と同様に中国地区独自の運用として、YH A052を追加する。

☆各主催クラブへの要対応事項

- ・クラス区分同意書の差替え版を各主催者に展開するので、JAF本部への提出期限(例年だと11/15)に間に合うようにJAF中国本部宛に提出してもらう。

②2025年ジムカーナ部会役員および部会選出運営委員の選出について

部会長 1名、部会長を除く部会選出の運営委員を 2名以内

次回部会に向けて、11月第2週ぐらいを期限に部会選出の運営委員 3名を立候補を募る。

<意見>

- ・運営委員の人数を増やせないのか。
- ・運営委員でなくても希望者は委員会へオブザーバー参加すれば良いのではないかな。
- ・定員以上の立候補があった場合、どう決めるのか。
⇒以下のいずれかで部会員の代表を決めて、そのメンバーから選出するのはどうか。
 - a. 各支部毎で代表者を選出
 - b. クラス毎で代表者を選出
 - c. その他 (何か良い案があれば次回部会までに連絡下さい)

<決議事項>

- ・立候補を募る方法は、クラブメーリングリストの連絡と部会出席者へメール連絡を併用。
部会参加者は下記メールにアドレスを連絡願います。
部会長mail : jmrc.chugoku.gymkhana(at)gmail.com ※(at)を@に置き換えて下さい
副部会長mail : hiroshima.gymkhana(at)gmail.com ※(at)を@に置き換えて下さい
- ・次回部会にて部会長 1名、部会長を除く部会選出の運営委員を 2名を選出する。

③2025年のチャンピオン戦日程について

<意見>

- ・チャンピオン戦の四国併催に至った経緯がよく分からない。
⇒以下のように中四国地区の意図が一致したことで、近場の会場2戦で併催を行うこととなった。
 - ・四国地区は開催数が中国地区より多いが、参加者減が進んでおり、参加者を増やしたい。
 - ・夏場に中国地区の開催が無い為、競技日程が間延びしている日程を埋める。
- ・四国地区併催のチャンピオン戦の第5戦@瀬戸内海サーキットについて
パドックが狭いので、不受理が出るのではないかと。
不受理の場合は、ホテルをキャンセルするなど対応が必要なので、時間的猶予が欲しい。
⇒パドック台数の制限から、中国地区クラスの不受理が出る可能性が有る為、
ホテルのキャンセルなどを考慮し、申込締切を2週間前に設定してもらうように要望する。
- ・不受理を出す場合、選考基準を決めておいた方が良いのではないかと。
⇒不受理が出る場合は、第4戦までの各クラスの平均出走台数と各クラスの申込台数を比べて
ギャップが大きいクラスからクラス単位で受理、不受理を決める予定。
(同一クラス内で受理される選手、不受理にされる選手が出ることはない)
- ・岡山が1戦しかないが、他地区での大会開催よりも岡山での開催をどうにかすべきではないかと。

④Rクラスの指定タイヤについて

現在、国産・海外主要メーカーについては、「セミレーシングタイヤ」などSタイヤ扱いの場合は一覧に入れず。海外主要以外については「レース専用」などの表記が無いものについては入れている。

<意見>

- ・タイヤ選定基準を設けるべきではないかと。
- ・シーズンを通して追加削除はしない方が良いのではないかと。
- ・シーズン途中でモデルチェンジなどで現モデルが終売した場合には、次モデルが使用出来た方が良い。
- ・新型モデルはタイヤの実力がよく分からないので、追加の是非を判断するのが難しいのでは。
- ・タイヤにお金をかける勝負になると参加費含め 競技に出るのが厳しくなる。
71RSは2シーズン使っていたが、β11は厳しい。タイヤサイズが無い方も居る。
- ・β11はタイヤサイズが少なく、アルミホイール購入が必要になる場合も有り、費用負担増に繋がる。

<決議事項>

以下の案で、次回部会にて審議を行う。

1. シーズン途中の指定タイヤ追加は原則行わない。
シリーズ規則として、同一性が保てない為、前年12月末に決定を原則とする。
ただし、シーズン中に指定タイヤの製造中止等があった場合は、参加者の意見を確認し、
シリーズ途中の銘柄追加を検討する。
2. タイヤ選定基準を指定タイヤ一覧の前文として、記載する。
例：公道外専用タイヤ、レースタイヤの様な記述が無い事。
1 銘柄 1 コンパウンドかつ30サイズ以上販売している事。
3. 指定タイヤの見直しする際は、Rクラス参加者の意見を確認した後に、部会審議を経て決定する。

⑤その他

- ・今後、他地区参加を目指すまたは受け入れ（近畿、四国、九州）で話し合いしていければとも思う。
- ・R4クラスは性善説で成り立っている。
- ・議事録ではなく、Teamsの録画を残すようにしたら良いのでは。
- ・変化する環境に合わせて若い意見とOBの方の経験を合わせていければとも思う。
- ・Web参加は他のことしながら、「ながら参加」できるのが良い。